

うれしい
お知らせです

西初石中 トイレ改修へ

—設計費を位置づけ—



小田桐たかし

日本共産党市議会議員

市長のトップダウンで進めた『おおたかの森地区小中併設校』は、既存校との格差にとどまらず、規模による弊害や運営の困難さが新たな矛盾や混乱をうむのではないかと心配しています。

しかし、将来を担う子どもたち一人一人が安心して楽しく学校生活を送るため

に力を尽くしてきた学校現場や保護者・地域住民の努力までゆがめることはできません。

『より良い教育環境の拡充』の一点で、力をあつめてまいりましょう。私もがんばります。



小田桐たかし市議は、日本共産党市議団による市内全小中学校の視察実施の先頭に立ってきました。

学校間格差とともに、学校毎に異なる要望や改善箇所、備品整備を具体化し、市議団全体での告発・改善運動を展開。他党派も含め超党派の運動にと発展し、遅れていた改修や備品整備を前進させています。

老朽化した校舎・トイレの改修へ 党派を超えた協働を

「汚くて使えなかった…」という声が聞かれてる西初石中学校のトイレ。昨年末、市議会に配布された『H26年度主要事業』には、「西初石中学校のトイレ改修の実施に向け、西初石中学校の校舎トイレの改修設計を行う」と明記。ようやく、改修される目途が立ちました。教員やPTAの粘り強い運動が勝ち取った成果です。



H26年度主要事業に位置付け